

分野： (1) 小児・成人ぜん息に関する調査
 (1)-② ② 高齢者を含む成人ぜん息患者の個別化治療を目指した治療実態の把握及び効果的な治療・療養方法の策定
 申請課題名： 高齢者を含む成人ぜん息患者の個別化治療を目指した治療実態の把握及び効果的な治療・療養方法の策定

調査研究代表者氏名： 鈴川 真穂

1 評価項目						
5点:大変優れている(A判定) 4点:優れている(B判定) 3点:普通(C判定) 2点:やや劣っている(D判定) 1点:劣っている(E判定)						
	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
(1) 環境保健対策の推進への貢献度	1人	4人	1人	0人	0人	4.00
(2) 研究成果目標の達成度	1人	3人	2人	0人	0人	3.83
(3) 研究計画の妥当性	1人	5人	0人	0人	0人	4.17
(4) 研究内容の独自性	0人	1人	5人	0人	0人	3.17
(5) 社会・経済に対する貢献度	1人	3人	2人	0人	0人	3.83
個別評価(第3評価):(1)(2)(4)(5)の平均						3.71
(6) 総合評価(第2評価)	1人	4人	1人	0人	0人	4.00
全体評価(第1評価):(1)~(6)の平均						3.83

2 記述評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者喘息がそれを除く成人喘息との違いが十分に抽出されていない。 ・ 喘息ガイドラインに記述すべきエビデンスがよくわからない。 ・ 種々の関連因子のうち、どれがより重要かなども明らかにしてほしい。 ・ 今後、本研究の重要な目的の一つである高齢者ぜん息の治療指導法の策定（ガイドライン）を完成または寄与してほしい。個別化対応も含めて。 ・ 高齢者ぜん息に関する新知見が得られたものとする。なお、65歳以上を高齢者として研究対象にしたが、現実には75歳以上(後期高齢者)が高齢者集団として、よりふさわしいように思われる。今後の検討を期待する。 ・ 研究目標の達成度は十分とは言えないが、得られた成果は次の段階への展開が期待できる。